

授業科目名	保育内容健康Ⅱ		担当教員名	安井 嘉佑
必修/選択	選択(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	1年 後期(年間開講数 2講座)	
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位	
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む) 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表2)	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 健康科学研究所副所長、指導員としての実務経験を活かして、幼児体育指導、幼児水泳指導の実例を多く取り上げて授業を行っている。	
授業の到達目標	各年齢に応じた運動遊び(ボール・フラフープ・マット・跳び箱・サーキット・ごっこ遊びなど)を紹介し、実践する。 (1)コミュニケーション能力の習得 (2)技術の理解 (3)技術の習得 (4)指導法の理解			
授業の概要	子どもたちの、発育発達状況を考慮し、各年齢に応じた運動遊び(ボール・フラフープ・マット・跳び箱・サーキット・ごっこ遊びなど)を紹介し、実践する。 また、幼児体育の補助方法も学生同士で実際に実践し様子を感じ取る。			
テキスト	使用しない			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)			
成績評価の方法	授業参加態度等…10%、平常点…20%、理解度試験等…20%、定期試験(実技)…50%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	授業内容の説明とマット運動(前転・後転)			(1),(2),(4)
第2回	マット運動(前転・後転)完成			(1),(2),(3)
第3回	マット運動(前転・後転)指導法 補助法 導入・展開			(1),(3),(4)
第4回	マット運動(開脚前転・開脚後転など)指導法 補助法 導入・展開・完成			(1),(3),(4)
第5回	ボール遊び(投げる・取る・蹴る)			(1),(2),(3)
第6回	ボール遊び(投げる・取る・蹴る)指導法 導入・展開			(1),(3),(4)
第7回	ボール遊び(投げる・取る・蹴る)指導法 展開・完成			(1),(3),(4)
第8回	跳び箱 完成			(1),(2),(3)
第9回	跳び箱 指導法 補助法 導入・展開			(1),(3),(4)
第10回	跳び箱 指導法 補助法含む 導入・展開・完成			(1),(3),(4)
第11回	サーキット 導入・展開・完成			(1),(2),(3),(4)
第12回	ごっこ遊び紹介 導入 ※情報機器あるいは視覚教材の使用			(1),(2),(3),(4)
第13回	指導案作成 模擬指導(グループ制) マット・ボール			(1),(2),(3),(4)
第14回	指導案作成 模擬指導(グループ制) 跳び箱			(1),(2),(3),(4)
第15回	指導案作成 模擬指導(グループ制) サーキット			(1),(2),(3),(4)
定期試験	実技試験			